

## 第74回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日時 平成28年1月14日（木）午後13時30分～午後16時30分  
場所 本学 大会議室  
出席者 (外部委員) 内藤 富夫 委員  
三代 美知子委員（欠席）  
(内部委員) 三宅 孝之 委員  
若崎 淳子 委員長  
佐藤 公子 委員  
橋本 由里 委員  
秦 幸吉 委員（途中退席）  
藤田 小矢香委員  
(記録) 宇原 均（事務室管理課）

### 〈議事〉

#### 1. 平成27年12月提出申請書（2件）の審査について

##### 1) No. 174

申請者：藤田小矢香

課題名：

**産褥早期の褥婦の睡眠量（客観的・主観的）と産後の気分の関係**

**結果：【承認】とする。**

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

- ・審査の途中で示された倫理的配慮の実現に向けて字句の修正、統一を図ること、表現されていない部分についても明確にすること。
- ・松江市立病院の方での審査結果や付された条件など、当委員会でも確認できるようにすること。
- ・上記については、修正の内容を委員長、副委員長に確認を得ること。

（主なヒアリング内容）

（委員）研究デザインを説明していただきたい。

（申請者）一部実験的な調査になっている。腕時計型の睡眠計を二日間つけていただき客観的な睡眠の質を調査する。

（委員）実験研究、介入研究、継続を伴うので縦断的な研究の三点で倫理的配慮を審査したい。

（委員）松江市立病院でも審査にかけるのか？時期は本委員会の後か？松江私立病院の審査結果については本委員会への報告はどの様に考えているのか？

(申請者) 特に考えていませんでした。松江市立病院方で修正の指示が出た場合、再度申請を考えていました。

(委員) 松江市立病院の方で承認が得られた場合、当委員会へ報告をお願いしたい。  
(申請者) 分かりました。

(委員) 研究代表者、代表研究者、主任研究者等、記述があるが研究代表者と同一ということで良いか。同一であれば揺れが見られるので統一を。  
(申請者) 同一である。統一する。

(委員) 共同研究者の役割が分かりにくいのでP 5の3) 役割分担について、◎をリーダーに、関わる者を○にするなど記載に工夫を。  
(申請者) 了解しました。

(委員) 申請書P 1の3. とP 5 2. 4) ではデータ収集期間が整合しない。修正を。  
(申請者) 修正する。

(委員) P 2では12名の対象者数となっているが、P 4では調査1) 14名、調査2) 120名となっている。整合を。  
(申請者) 修正する。

(委員) 依頼書に相談窓口担当がだれになるのか明記すること。  
(申請者) 明記する。

(委員) カルテを閲覧する手続き、記録については松江市立病院に確認し、申請書に記載を。  
(申請者) 確認し、記載する。

(委員) P 5④に中止について記載されているが、『参加者が途中で同意を翻した場合』や『身体に侵襲があった場合』も追記すること。  
(申請者) 記載する。

(委員) 質問票の回答を点数化した結果、うつなど支援が必要であることが判明する人がいる。その方に対してどのような支援を行うのか配慮が必要。

(委員) 支援の有無、方法については、研究メンバーだけでなく、心理学の専門の先生などへも相談すること。  
(申請者) 相談を行う。

1) No. 149 (変更)

申請者：祝原あゆみ

課題名：

自然災害へ備える意識と対応能力を高めるための平常時の保健師活動  
—豪雨災害の支援活動の経験から—

結果：【承認】とする。

(委員) 単純な追加ではなく、研究の質を上げるための追加と考えるがそれによいか？

(申請者) そのとおりです。

(委員) 時間が経過してしまい、対象者も移動などが考えられるがどうか。

(申請者) 正直、今年度がギリギリと思っている。アンケートの中で重点を置いているのは自由記載の部分で、協力いただける範囲でと思っている。

(委員) 調査方法の変更ではない？

(申請者) 変更ではありません。

(委員) 退職した人から聞くというのではないか？

(申請者) そうではありません。

(委員) 信頼性に関わる部分であるので代表研究者、研究代表者など記載の統一を。

(申請者) 統一します。

2. 次回委員会の開催日について

次回（第75回）委員会は、本来の第2木曜日が祝日のため、改めて調整する。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：宇原 均)